

寸言

アクセンチュア株式会社
執行役員 製造・流通本部 統括本部長
宮尾 大志



ヒトが輝く航空宇宙産業の実現に向けて－入会のご挨拶－

この度は日本航空宇宙工業会への入会をご承認いただき、ありがとうございます。また、この場を借りて入会に際しご支援ご尽力いただいた皆様にも感謝の言葉を述べさせていただきます。歴史ある貴協会の一員となることに身の引き締まる思いです。

アクセンチュア株式会社は、航空宇宙防衛分野の機体／エンジンOEMや装備品・構造部材のサプライヤーをグローバルに幅広くご支援しています。そうした経験を元に民間航空機分野で毎年2回レポートを取りまとめており、防衛や宇宙分野でも同様の取り組みを始めました。

直近の民間航空機市場はMRO市場とスペアパーツに後押しされ、年率3%で成長した結果、コロナ前の水準を超えたとみています。旺盛な需要にチタン・半導体・複合材・レアアースといった一部素材の供給や品質不具合による製造数が追いついていません。67%の航空機製造業の経営リーダーは、熟練工の不足や不安定な経済状況も相まって、今後状況が悪くなると見ています。そのため、経営陣の目下の興味関心は①ランプアップに向けたサプライチェーンの強靱化②熟練工が不足する中での製造品質向上が挙げられます。

サプライチェーンの課題に対して、弊社ではサプライチェーン全体のデジタルツイン化による可視化、シミュレーションによる事前対策体制の構築を支援しています。物量が増えると人手での管理が一層難しくなることを見据え、デジタルの活用がますます重要になります。また、「サプライヤーのサプライヤーはわからない」という問題は、サプライチェーン

やサプライヤーのリスクを定量的に評価するサードパーティのデータを活用して対応に当たっています。こうした外部データと自社のデータを融合させ、サプライチェーンのデジタルツインを構築、リアルタイムに問題点を把握できるようにしております。

また、熟練工の不足問題に対し、弊社では画像認識を用いた品質検査の一次スクリーニングや、作業指示／トレーニングへのAR／VR活用、その基盤となるデジタルスレッドの構築などを行っています。他方、デジタルだけでは解決できないため、エンジニアの育成のみならず、設計代行、型式証明の取得や生産現場のランプアップなどのコンサルティングの枠を超えたエンジニアリング領域での実際のオペレーションそのものの支援も行っています。

こうした取り組みの詳細については、弊社のウェブサイトや毎年行われるファンボロー・パリエアショーの弊社シャレーにて展示しております。ご興味ある方はぜひご連絡を賜れば幸いです。

弊社は国内外でのプロジェクト経験や知見を本工業会の皆様に還元し、日本の航空宇宙産業の益々の発展の一助となれればと考えております。その一環として昨年、宇宙ビジネスに関する「宇宙無限大 ビジネスのフロンティア」（日本経済新聞出版）というムック本も監修いたしました。日本が培ってきた圧倒的な品質や性能をより伸長できる方法論を皆様と導出できるよう、微力ながら貢献させていただければ幸甚です。